

平成28年 3月5日

《回答数31／48》

単位:人

質問項目	回答内容	回答人数
1 所属等	司法関係事務所	2
	介護保険関連事務所	2
	障がい者関連事務所	6
	障害者施設	2
	当事者・家族等	3
	行政関係	8
	社協	1
	その他（無記入服務）	8
2 職種	弁護士	2
	司法書士	
	社会福祉士	11
	精神保健福祉士	1
	介護支援専門員	1
	介護士	
	相談支援専門員	
	サービス管理責任者	2
	介護保険認定調査員	1
	職業指導員	1
	保健師	2
	相談員	
	福祉活動専門員	
	当事者・家族等	3
不明（無記入）	8	

2 本日の研修会でどのような気づきがありましたか？

(1) 虐待について

- ・おかしいと感じたことはそのままにしない。
- ・虐待が発生させないような“社会”“地域”づくりをわれわれ専門職がサポートしていく責務があると改めて感じました。
- ・問題に気付く、改善する。そのためには利用者の声を聞くということが重要だと感じた。
- ・具体的な事例や背景、経過を、わかりやすく聞けました。また先生の人柄などがなじみやすくとても良かったです。連日の研修でしたが、時間、もう少し長くても良かったです。もう少し話を聞いていたかったというにが素直な意見でした。また、機会があれば研修にも参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・不適切支援にも様々な種類があることを知りました。不適切支援別に不適切な支援に至った背景を見ていくことで、どのような研修等が必要か、サポートが必要かが分かりやすくなると感じました。佐藤先生からリアルな虐待内容を伺うことができ、改めて、虐待の怖さを知ることができました。

- ・施設で虐待があってもおかしくない。それを犯罪として処罰して終わってはいけない。困っている職員のSOSを受け止めて事件にしないことが重要。＝虐待防止法は利用者を守る、そして、そこで働く職員も守る。
- ・個人に起因する虐待と捉えず、困っている支援者を支援することが利用者を救うことになる、よく分かりました。情報(公開・共有)も大切。
- ・施設虐待は起こる。その責任は我々にある。という言葉に、対応する責任を重く、再確認できました。
- ・事例の詳細を知り大変ショックでした。先生の提示して下さったスキーム(対応)は大変参考になりました。
- ・当事者に接する人の主観でその人の限界を決めたくない。
- ・虐待は大小問わず、日常的に起こるもの。大切なのはそれを見過ごさない、次につなげていくことが重要。当たり前の日常の中に起こる変化、異常に気付くことが大切であることを学んだ。
- ・日常気付かないことが多くあると思いますが、日々目を向けることが大切なことだと思いました。
- ・当事者、支援者、それぞれの立場、行政の考え、全体でしていかなければ、よくならないと思いました。
- ・密閉された施設の実情をなくす。
- ・地域社会の問題であるということは、自分達の問題であることを改めて感じることができました。
- ・長年施設で働いていました。特に高齢者GHでの経験と照らし合わせると虐待へとつながる境界線は非常に危うく、今回の施設の体制が目に見えようでした。それが施設だけの問題ではなく、地域社会の問題であることに大きな衝撃と、大きな発見、気付きになりました。
- ・おかしいことをおかしいままにする。これが命に関わるような事態を招いてしまう。
- ・地域から施設に送りこんでいる。ということ、地域がそういう場所を作っている。パーソナルサポーター制度(オンブズマン)の必要性を感じた。
- ・解消に向けた対応において、意思決定支援に基づくことが大切。
- ・常に苦情を言っている人を困った人だと決めつけて関わっているのは、支援者が視野狭窄状態に陥っているのではないかと考えさせられた。施設入所すれば地域での問題は無くなるが、人の存在を忘れる社会を自分たちが作り出していることにも気づいた。

(2) コンプライアンスルールについて

- ・虐待の背景に施設(職員)の閉鎖性、行き詰まりによる視野狭窄があることが分かった。虐待そのもののみならず、そこに目を向けたルールを作らなければならない。
- ・問題を問題ととらえる姿勢、公表、改善に取り組み、今後へきちんと伝えることが必要と理解できました。
- ・コンプライアンスルールについて、もっとお話いただきかったです。
- ・守る必要がある。その時、時代に応じたコンプライアンスルールを作っていく。
- ・これから学んでいきたいと思います。
- ・また話が聞きたいです。

3 感じたことや要望したいことなどを記入してください。

- ・分かりやすく、かつ、おもしろい話で良かったです。また改めて虐待防止に取り組んでいくよう、職場でも生かしていきたいです。
- ・視野狭窄にならないよう尽力したいと思います。

- ・虐待に至るまでの背景に注目することが大切だと感じました。起きてからでは遅い、起きないための活動と、起きてしまった時に、どう対応するかを考えていきたいと思います。
- ・是非また参加したいです。
- ・“虐待防止”＝“意思決定支援”つながるところを改めて勉強できた。
- ・行政の人間も孤立(担当者に委ねられる、判断できる、判断できる材料がない、相談できる人もいない)こうしたつながりは大切だと思いました。
- ・Mねっとさん、困っていること、気になっていること、気軽に聞いていただける所になっていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・大変、家庭の中、これから施設を考えていく上で勉強になりました。
- ・このような機会がまたあるといいなと思います。多くの気づきがありました。ありがとうございました。
- ・どんどんこのような研修会を開催して頂きたいです。
- ・佐藤先生の熱の入った話が聞けて良かったです。実践していきたいと思います。
- ・視野が狭くなるというのは、施設に限らずある。(1対1で利用者と向かいあう時など)
- ・とっても勉強になりました。
- ・この様な研修を沢山行って頂きたいです。もっとご家族や地域の人達が参加できる研修を希望します。
- ・自分の支援が虐待になっていないかを振り返るためにも今回のような研修会が必要だと感じました。
- ・佐藤先生が弁護士、障がい者の家族という立場で話された内容は説得力がありました。
- ・障がい者、高齢者に限らず、支援現場で働く多くの方に聞いていただきたい内容でした。